

## ◇ダイオキシン類濃度測定結果◇

南丹市では、カンポリサイクルプラザ株式会社における廃棄物焼却施設の適切な運転を監視するため、排出ガス中のダイオキシン類濃度の測定を実施しています。

平成 28 年度の測定結果について、下記のとおり公表します。

測定日時	測定結果（注 1） （ng-TEQ/m <sup>3</sup> ）	法基準値（注 2） （ng-TEQ/m <sup>3</sup> ）	自主目標値（注 3） （ng-TEQ/m <sup>3</sup> ）
平成 28 年 8 月 31 日 10 : 30 ~ 14 : 30	0.00025	0.1	0.03
平成 28 年 12 月 13 日 10 : 30 ~ 14 : 30	0.00000096	0.1	0.03

（注1）実測値が定量下限未満の場合は 0 として表示。

（注2）ダイオキシン類対策特別措置法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律による基準値。

（注3）事業者の改善計画書及び公害等の防止に係る協定細目書による目標値。

## <事業者による測定結果>

カンポリサイクルプラザ株式会社でも、定期的に自主測定が行われています。同社ホームページ（<http://www.c-rp.co.jp/>）において測定結果が公表されています。

## 【参考】

### ○ダイオキシン類

ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン（PCDD）とポリ塩化ジベンゾフラン（PCDF）及びコプラナーポリ塩化ビフェニル（コプラナーPCB）を含めて、ダイオキシン類と呼びます。ベンゼン環 2 つに塩素が付いた化学構造をしており、塩素の数や位置などにより、多くの異性体が存在します。

### ○TEQ（毒性等量）

ダイオキシン類は、毒性の強さがそれぞれ異なっており、最も毒性の強い 2,3,7,8-TCDD の毒性を 1 とし、他のダイオキシン類の毒性の強さを換算する毒性等価係数（TEF）を用いて毒性を算出し、合計値（毒性等量=TEQ）で表します。

### ○ダイオキシン類の単位

ダイオキシン類は、極微量物質であるため、通常、pg（ピコグラム=1兆分の1グラム）やng（ナノグラム=10億分の1グラム）といった、微量単位を表す記号を付けて表します。